

### 名張保護司会便り

# 生

人はみな、  
人生はかされて  
生きてゆく

発行 名張保護司会

〒518-0718  
名張市丸之内79 総合福祉センターふれあい館  
☎63・7575 FAX 64・7619

## 更生保護ネットワーク 名張保護司会便り

### No.29

#### 第67回社会を明るくする運動 作文コンテスト

# 名張市より 2人入賞



三重県教育委員会教育長賞を受賞した西さん(中央左)と、三重県更生保護事業協会理事賞を受賞した山浦さん(中央右)

犯罪や非行のない地域社会を目指して行う「社会を明るくする運動」。その中の取り組みの一つは、小中学生に家庭や学校など、日常の中で犯罪や非行に関して考え、感じたことを作文にし、運動に対する理解を深めてもらうことを目的とした作文コンテストです。県下の入賞作品十四点の内、名張市からは二人が入選されました。

- 三重県教育委員会教育長賞
- ☆ 西 佑巴さん (名張中学校 2年)
- 三重県更生保護事業協会理事賞
- ☆ 山浦 あかりさん (名張中学校 2年)
- 名張保護司会々長賞
- ☆ 小野 蓮さん (名張中学校 3年)
- 名張市更生保護女性会々長賞
- ☆ 留森 歩美さん (赤日中学校 1年)
- 名張市BBS会々長賞
- ☆ 秀田 稜介さん (名張中学校 3年)
- 審査委員会賞
- ☆ 藤岡 道生さん (北中学校 1年)

### 三重県教育委員会教育長賞受賞作品を紹介します

## 「社会を明るくするために」



にし ゆうば  
西 佑巴さん  
(名張中学校 2年)

社会を明るくするために私達が出来る事は地域をきれいにする事や大切にすること。そして何があっても、犯罪をしない事、させない事だ。

二つ目、「地域をきれいにする事」には様々な効果がある。地域をきれいにすることで犯罪や事件が少なくなりその地域の治安が良くなるのだ。外国のあるところでは地下鉄でおきる事件や犯罪を無くすために電車や駅の壁にあった落書きをすべて消した。すると、自然と事件や犯罪が減り以前よりも利用しやすい場所となったそうだ。これは、日本も同じだ。私の家の近くの商店街では、閉まった店のシッターなどにスプレーなどで落書きがしてある。また大阪などの都市に行くこととたさんの落書きが目立っている。みなさんの住む所の近くにも同じようなものがあるのではないだろうか。だから、地域をきれいにする事はとても大切で、実行しなければいけない事だと思ふ。また、実行するためのボランティアの参加では自分と同じ意見や意思をもつ人が多いため、互いの考えに共感しやすくてとてもやりがいを感じられるのではないだろうか。

「大切にすること」とは地域をきれいにすることはもちろん、地域の人達との交流やふれあいをすること、公共の物を大事に使用する事だと思ふ。そうすれば、自分自身とその地域のみんなが気持ち良く、楽しく過ごせるのではないだろうか。

二つ目、何があっても犯罪をしない事、させない事。「犯罪の中でも小さな犯罪から、大きな犯罪まで様々な種類のものがある。小さな犯罪は何と質問されたらあなたはなんと答えるだろうか。多くの人が「万引き」と言うかもしれない。では逆に大きな犯罪は何と答えたならあなたは何と言うのだろうか。多くの人は「殺人」と

言うのではないだろうか。物のおもさや人の命のおもさにはずいぶん差があると思ふ。だが、「犯罪」は「犯罪」だ。決してしてはいけない事だ。だけど、してしまうのはなぜだろう。あたりまえの事があたりまえに出来なくなる。そんな人達が犯罪をつくってきたのかも知れない。そうやって明るい社会からとおさかてしまったかも知れないと思ふ。自分がしてはいけない、やりたくないと思ついても、友達に「万引きしてこい」「早くしてこいよ。」などと言われてしまった。自分が思つていても、心が勝てなかったら意味はないかもしれないと感じた。だが、「犯罪」は「犯罪」だ。何があつてもしてはいけない事だ。近くで殺人事件があつたが犯人はまだ分からない。誘拐事件があつたなどこのような事がおきた場合、みんなが気持ち良く安心して過ごせないだろう。こわくてあまり外に出られなくなってしまうと思ふ。あなたもそうだろうか。犯罪は直接関わりのない人々まで巻きこんでしまうのだ。

社会を明るくするために私達が出来る事は地域をきれいにする事や大切にすること。そして何があっても、犯罪をしない事、させない事だ。地域をきれいにし大事にすることで、気持ち良く安心の出来る場所になつていくのではないだろうか。また、犯罪がおきない所にもなつていくのだろうか。これからの未来が明るくどんな人でも気持ち良く楽しい場であるために。



※原文を尊重して掲載しています。

### 更生ペンギンのホゴちゃんはPR活動を頑張っています



昨年11月25日田、「ふれあいフェスティバル」に保護司会のマスコットキャラクター「ホゴちゃん」が登場。更生保護の啓発パンフレットなどを配りながら、来場者家族と記念撮影をするなど大いに会場を盛り上げました。

### 愛の資金 総額 1,708,155円

	(平成30年1月末日現在)
社会を明るくする運動事業	675,855円
保護司会活動費用事業	282,300円
更生保護女性会活動事業	150,000円
名張BBS会事業	50,000円
更生保護大会	300,000円
県更生保護事業助成	250,000円

更生保護愛の資金は各地区を通して名張市内の全世帯に呼び掛け、平成29年度も皆様のご理解とご協力により大きな成果を上げることができました。ご協力いただいた皆様へ厚く御礼を申し上げます。愛の資金は次の事業に活用させていただきます。